

科目名	産業創造セミナ		英文表記	Creative Industry Seminar		2013年2月12日	
科目コード	3101						
教員名:山城 光 技術職員名:						作成	
対象学科/専攻コース	学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間	
機械システム工学科	3年	必	履修	2単位	講義	通年	
科目目標	社会・産業構造についての知識を得、起業家精神や就業意欲を高める						
総合評価	前期・後期評価:定期試験(期末試験2回)70%+産業レポート15%+ビジネス関連レポート15% 学年末評価は上記評価割合に基づき実施し、60%以上を合格とする						
科目目標 達成度と JABEE目 標との対 応	科目達成度目標(対応するJABEE教育目標)			達成度目標の評価方法		目標割合	
	①	産業や企業活動に関心を持ち、進路について考えるきっかけをつかむ		⇒	レポート(15%)で評価		15%
	②	基礎的なビジネス関連用語を理解し、社会の仕組みを考えることができる		⇒	ビジネス関連試験(35%)+レポート(15%)で評価		50%
	③	資金調達に関する知識を学ぶ		⇒	定期試験にて評価(35%)		35%
本科・専攻科 教育目標	1	2	3	4			
		◎		○			
評価方法と評価項目および関連目標に対する評価割合							
	目標との関連	定期試験	小テスト	レポート	その他(演習課題・発表・実技・成果物等)	総合評価	セルフチェック
評価項目		70	0	30	0	100	
基礎的理解	①②③	30		10		40	
応用力(実践・専門・融合)	①②③	20		5		25	
社会性(プレゼン・コミュニケーション・PBL)	③	0		5		5	
主体的・継続的学修意欲	①②③	20		10		30	
授業概要、方針、履修上の注意	本授業では、金融、資産運用、ベンチャー起業論、経営、商品開発などの基礎学習および地元のベンチャー起業の経営者より起業家の実例と考え方を学ぶ						
教科書・教材	自作資料(パワーポイント他)						

授 業 計 画

週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容	自学自習 (予習・復習)内容	セルフ チェッ ク
1	授業説明	2	授業の概要と進め方について説明		
2	産業講演1	2	沖縄県の産業の現状		
3	起業家講演1	2	トマス技研の創業と経営		
4	技術・事業家講演	2	(株)トロピカルセンターにおける研究と事業化		
5	産業講演2	2	沖縄県における産学連携		
6	産業講演3	2	会社勤務、起業から名護市の産業育成まで		
7	起業家講演2	2	(株)シーポイントの操業と経営		
8	起業家講演3	2	サイオンコミュニケーションズ(株)の創業と経営		
9	起業家講演4	2	沖縄コンピュータ(株)の創業と経営		
10	ビジネスの基礎1	2	企業とは何か。企業活動、仕組み		
11	ビジネスの基礎2	2	企業の種類		
12	ビジネスの基礎3	2	企業の設立手続き		
13	ビジネスの基礎4	2	企業の三つの形態		
14	ビジネスの基礎5	2	企業内部の組織図		
15	ビジネスの基礎中間試験	2	試験実施		
期末	期末試験	[2]			
16	ビジネスの基礎6	2	企業のライフサイクルとマネジメント		
17	ビジネスの基礎7	2	企業を取り巻く環境分析		
18	ビジネスの基礎8	2	経営戦略		
19	ビジネスの基礎9	2	マーケティング戦略		
20	ビジネスの基礎10	2	損益計算書、貸借対照表		
21	ビジネスの基礎11	2	ビジネスの課題に関する調査とレポート作成		
22	金融および資金調達1	2	直接金融と間接金融の概要について学ぶ		
23	金融および資金調達2	2	資金調達に関する知識を学ぶ		
24	金融および資金調達3	2	株式会社の構造を学ぶ		
25	金融および資金調達4	2	資金運用の演習と発表		
26	金融演習1	2	企業を調査し、企業活動の概要を学ぶ		
27	金融演習2	2	金融システムの調査をし、金融の概要を学ぶ		
28	金融演習3	2	模擬的な投資を体験する		
29	キャリアアップセミナー1	2	担当教員によるキャリアアップガイダンスその1		
30	キャリアアップセミナー2	2	担当教員によるキャリアアップガイダンスその2		
期末	期末試験	[2]			
学習時間合計		60	実時間	45	
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)				標準的の所用時間(試行)	
①					
②					
③					
備考欄					